

横浜市より標準世帯で年間13万円も高い

大阪市の国保料を 下げてください！



大阪市は国保料を「大阪府統一保険料に合わせる」として、23年度は10.3%（一人平均年額15,050円）も引き上げました。24年度も10%引き上げるとしています。大阪市の国保特別会計は、22年度は24億円の黒字で、基金（積立）は82億円にもなります。基金を活用し、一般会計からの繰り入れをすれば、引き下げも可能です。ところが、大阪市は「基金の活用も、一般会計からの繰り入れも禁止」の「府下統一保険料化」を進めていて、保険料引き上げへと舵を取っています。一方、統一保険料化に慎重な他府県では、保険料の抑制に努め、横浜市は、大阪市よりも平均世帯で年間10万円以上も安く抑えています。

2022年の年間の保険料

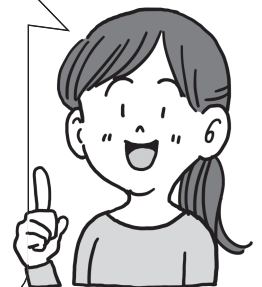
（夫婦40代、子ども2人で、所得200万円）

大 阪 市	39万6073円
札 幌 市	33万9360円
京 都 市	35万4440円
名古屋市	23万3760円
横 浜 市	26万2440円



コロナと物価高で
くらしは限界です。

大阪市の国保特別会計は、昨年度で24億円の黒字です。基金（積立）は82億円もあります。国保料の引き下げに使わせましょう。



私たち市民の声で、大阪市も22年度は375億円の一般会計からの繰り入れ、国も22年度からは未就学児の均等割を5割軽減しています。声をあげ、広げて、高すぎる大阪市の国保料を引き下げましょう。

大阪社会保障推進協議会大阪市内ブロック

大阪市北区錦町2-2 国労会館1階 TEL: 06-6354-8662 mail: osakasha@poppy.ocn.ne.jp